

<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	渋井川大規模特定河川事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局治水課 藤巻 浩之	事業 主体	宮城県																
実施箇所	宮城県大崎市																					
主な事業 の諸元	渋井川の改修(水門整備) N=1基																					
事業期間	事業採択	2019年度	完了	2023年度																		
総事業費 (億円)	25																					
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景> 鳴瀬川水系渋井川は流域面積18.6km²、流路延長7.88kmであり、大崎市内の住宅密集地を流下していることから水系上の重要性も高い河川である。また、鳴瀬川本川の背水の影響を受けやすく、平成27年の関東東北豪雨では渋井川が破堤し、床上浸水100戸、床下浸水300戸、浸水面積213haの甚大な被害が発生した。渋井川の近くには国道4号があり、関東東北豪雨では渋井川の浸水被害が原因で通行止めが発生している。</p> <p><達成すべき目標> ・破堤箇所については、平成27～平成29年に災害関連事業を実施し完成しているが、引き続き背水による逆流を防止するため、補助事業によって多田川合流点に水門整備を集中的に実施し、治水安全度の向上を図る。</p> <p><政策体系上の位置付け> ・政策目標:水害等災害による被害の軽減 ・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する</p>																					
便益の主 な根拠	浸水軽減戸数:5,411戸 浸水軽減面積:25,600ha																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度	2008年度																				
	B:総便益 (億円)	945	C:総費用(億円)	212	B/C	4.5	B-C	733	EIRR (%)	24.5												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>4.4</td> <td>~ 4.6</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>4.1</td> <td>~ 4.9</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>4.0</td> <td>~ 4.9</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	4.4	~ 4.6	残工期(+10%~-10%)	4.1	~ 4.9	資産(-10%~+10%)	4.0	~ 4.9
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	4.4	~ 4.6																				
残工期(+10%~-10%)	4.1	~ 4.9																				
資産(-10%~+10%)	4.0	~ 4.9																				
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <p>①大崎市の中心市街地における洪水による浸水被害の軽減が図られる。</p>																					
その他	<p><第三者委員会の意見・反映内容> 平成18年10月に学識者等による第三者から構成される公共事業評価部会で審議され、事業継続妥当とした答申を得ている。 令和元年6月に学識者等から意見聴取し、事業実施に関する承認を戴いている。</p>																					

渋井川大規模特定河川事業位置図

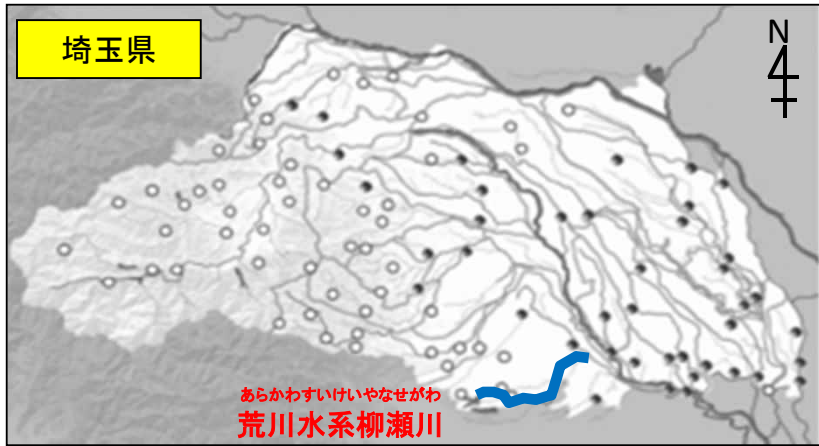
位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	柳瀬川大規模特定河川事業	担当課 担当課長名	水管理・国土保全局治水課 藤巻 浩之	事業 主体	埼玉県																	
実施箇所	埼玉県富士見市																					
主な事業 の諸元	調節池整備																					
事業期間	事業採択	令和元年度	完了	令和6年度																		
総事業費 (億円)	34																					
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> 一級河川柳瀬川は富士見市・所沢市の市街地を流下しており、平成28年台風9号により中上流部で浸水被害が発生した。 当該台風では、床上浸水62戸、床下浸水32戸の大規模な浸水被害が発生したことから、水谷調節池を整備し抜本的な治水対策を進める必要がある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> 水谷調節池を整備し、浸水被害の早期軽減を図る。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> 政策目標: 水害等災害による被害の軽減 施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する。 																					
便益の主 な根拠	年平均浸水軽減戸数: 5.4戸 年平均浸水軽減面積: 0.4ha																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度	令和元年度																				
	B:総便益 (億円)	52	C:総費用(億円)	31	B/C	1.7	B-C	21	EIRR (%)	7.0												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>1.6</td> <td>~ 1.9</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>1.7</td> <td>~ 1.7</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>1.5</td> <td>~ 1.9</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	1.6	~ 1.9	残工期(+10%~-10%)	1.7	~ 1.7	資産(-10%~+10%)	1.5	~ 1.9
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	1.6	~ 1.9																				
残工期(+10%~-10%)	1.7	~ 1.7																				
資産(-10%~+10%)	1.5	~ 1.9																				
事業の効 果等	当該事業を実施することにより、浸水被害の早期軽減が図られる。																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 令和元年5月に学識者等から意見聴取を行い、事業実施の承認を得ている。																					

柳瀬川大規模特定河川事業位置図



<新規事業採択時評価>

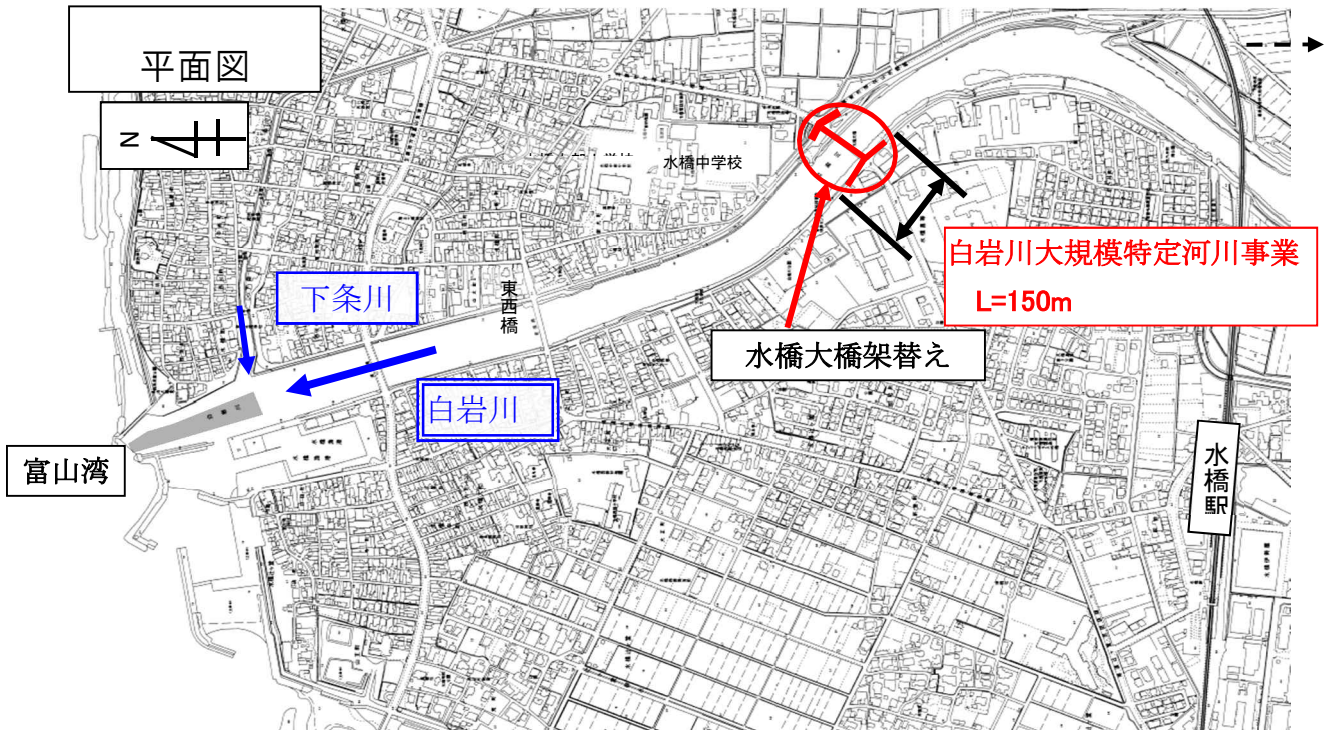
事業名 (箇所名)	白岩川大規模特定河川事業	担当課 担当課長名	水管理・国土保全局治水課 藤巻 浩之	事業 主体	富山県					
実施箇所	富山県富山市									
主な事業 の諸元	橋梁架替、河道拡幅									
事業期間	事業採択	2019年度	完了	2025年度						
総事業費 (億円)	11									
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> 平成10年(浸水戸数:130戸)と大規模な浸水被害が発生している <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> 橋梁架替等を計画的に実施し、治水安全度向上を図る。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> 政策目標:水害等災害による被害の軽減 施策目標:水害の防止・減災を推進する 									
便益の主 な根拠	年平均浸水被害軽減戸数:58戸 年平均浸水被害軽減面積:16ha									
事業全体 の投資効 率性	基準年度	2018年度								
	B:総便益 (億円)	3,359	C:総費用(億円)	212	B/C	15.9	B-C	3,148	EIRR (%)	65.4
感度分析	全体事業(B/C) 残事業費(+10%~-10%) 15.7 ~ 16.0 残工期(+10%~-10%) 15.9 ~ 16.0 資産(-10%~+10%) 14.3 ~ 17.5									
事業の効 果等	当該事業を実施することにより、1/50規模の洪水を安全に流下させることができる。									
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 令和元年6月に学識者等から意見聴取し、事業実施に関する承認を戴いている。									

白岩川大規模特定河川事業

位置図



平面図



<新規事業採択時評価>

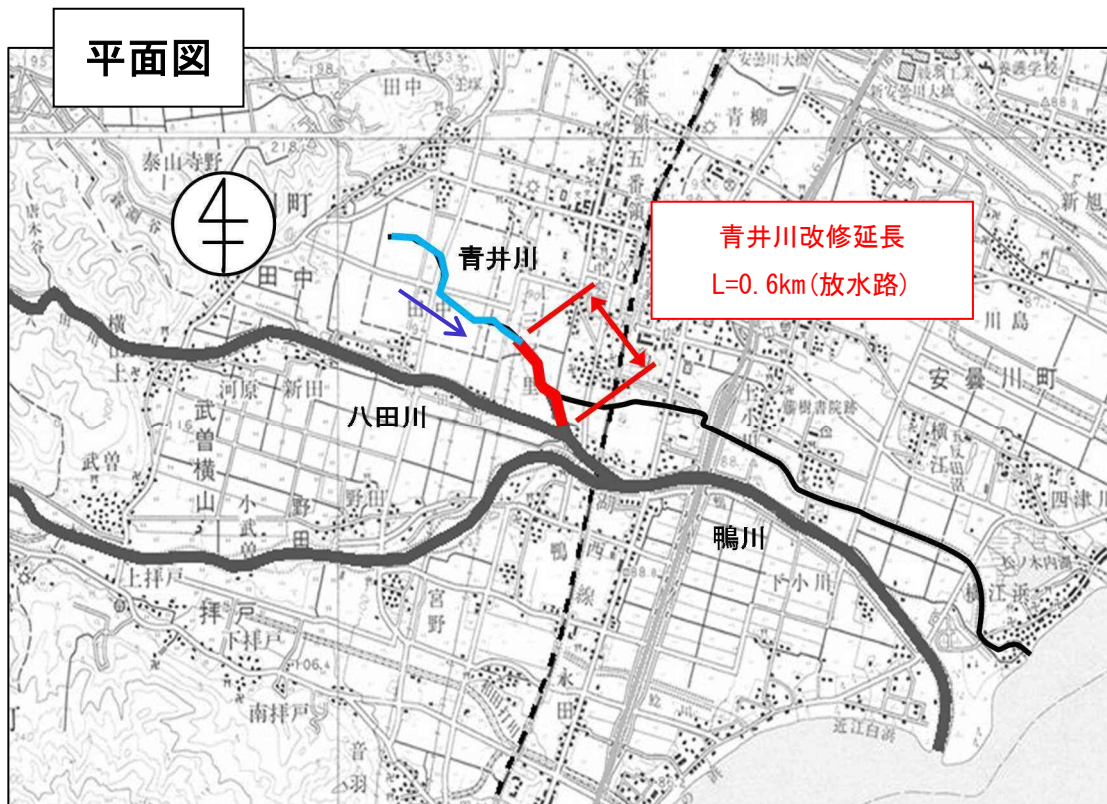
事業名 (箇所名)	青井川大規模特定河川事業	担当課 担当課長名	水管理・国土保全局治水課 藤巻 浩之	事業 主体	滋賀県
実施箇所	滋賀県高島市				
主な事業 の諸元	放水路等				
事業期間	事業採択	2019年度	完了	2023年度	
総事業費 (億円)	10				
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・平地河川で勾配が緩く流下能力が不足するため、河積の確保が必要であるが、下流部は市街化しており河道拡幅が困難である。 ・平成25年の台風による出水で、浸水面積230ha、床上浸水152戸、床下浸水119戸の被害が発生。 <p><達成すべき目標></p> <p>洪水を流す放水路を開削することで、流下能力を確保し、早期に浸水被害軽減を図る。</p> <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標:水害等災害による被害の軽減 ・施策目標:水害・土砂災害の防災・減災を推進する。 				
便益の主 な根拠	浸水軽減戸数:856戸 浸水軽減面積:694ha				
事業全体 の投資効 率性	基準年度	2013年			
	B:総便益 (億円)	303	C:総費用(億円)	31	B/C 9.8 B-C 272 EIRR (%) 95
感度分析	全体事業(B/C) 残事業費(+10%~-10%) 9.6 ~ 10.1 残工期(+10%~-10%) 9.8 ~ 10.0 資産(-10%~+10%) 8.9 ~ 10.8				
事業の効 果等	当該事業を実施することにより、放水路を整備することで、流下能力を確保し、早期に浸水被害軽減を図る。				
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 平成27年6月に学識者等による第三者から構成される淡海の川づくり検討委員会を開催し、当該整備箇所を含む河川整備計画を可とした答申を得ている。				

青井川 大規模特定河川事業位置図

位置図



平面図

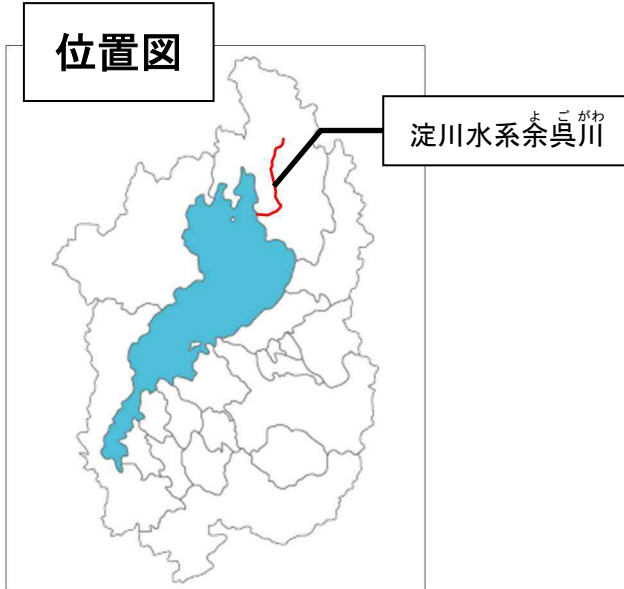


<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	余呉川大規模特定河川事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局治水課 藤巻 浩之		事業 主体	滋賀県																
実施箇所	滋賀県長浜市																						
主な事業 の諸元	橋梁架替																						
事業期間	事業採択	2019年度	完了	2022年度																			
総事業費 (億円)	13																						
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景> ・想定される氾濫区域には、JR北陸本線、国道8号および365号などの交通幹線が通過しているため、洪水氾濫が生じた場合は、その被害は甚大となり早急な治水対策が必要である。</p> <p><達成すべき目標> ・戦後最大(昭和34年8月台風7号)の洪水と同規模の出水に対して浸水被害の解消を図る。</p> <p><政策体系上の位置付け> ・政策目標: 水害等災害による被害の軽減 ・施策目標: 水害・土砂災害の防災・減災を推進する。</p>																						
便益の主 な根拠	浸水軽減戸数: 403戸 浸水軽減面積: 287ha																						
事業全体 の投資効 率性	基準年度		2008年																				
	B:総便益 (億円)	972	C:総費用(億円)		152	B/C	6.4	B-C	820	EIRR (%)	15												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>6.4</td> <td>~ 6.4</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>6.4</td> <td>~ 6.4</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>7.0</td> <td>~ 5.7</td> </tr> </tbody> </table>												全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	6.4	~ 6.4	残工期(+10%~-10%)	6.4	~ 6.4	資産(-10%~+10%)	7.0	~ 5.7
	全体事業(B/C)																						
残事業費(+10%~-10%)	6.4	~ 6.4																					
残工期(+10%~-10%)	6.4	~ 6.4																					
資産(-10%~+10%)	7.0	~ 5.7																					
事業の効 果等	当該事業を実施することにより、橋梁架替を行うことで流下能力を確保し、早期に浸水被害軽減を図る。																						
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 平成27年10月に学識者等による第三者から構成される淡海の川づくり検討委員会を開催し、当該整備箇所を含む河川整備計画を可とした答申を得ている。																						

余呉川 大規模特定河川事業位置図

位置図



平面図

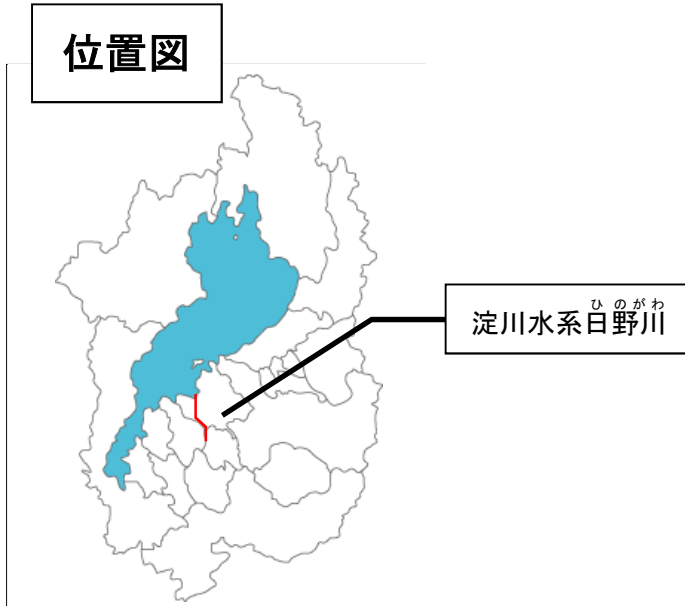


<新規事業採択時評価>

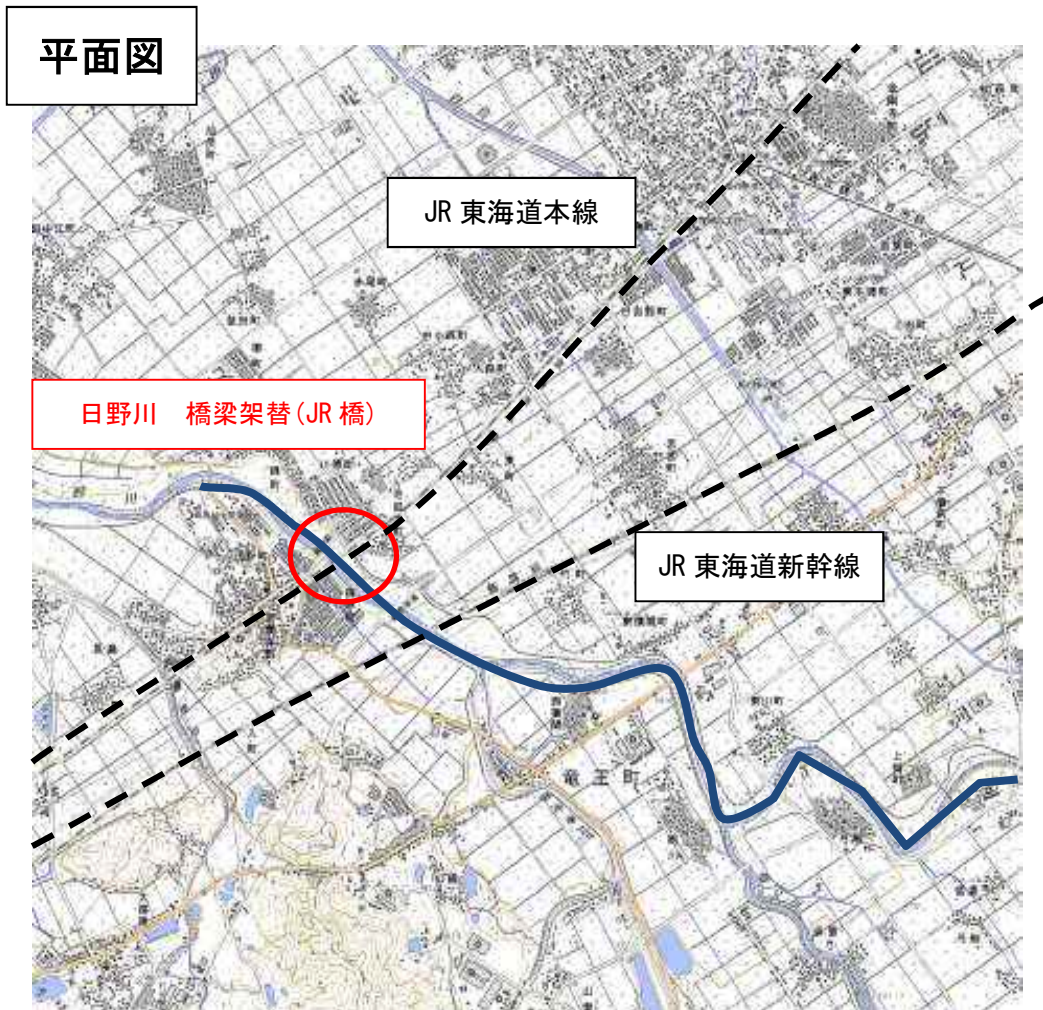
事業名 (箇所名)	日野川大規模特定河川事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局治水課 藤巻 浩之		事業 主体	滋賀県															
実施箇所	滋賀県近江八幡市																					
主な事業 の諸元	橋梁架替																					
事業期間	事業採択	2019年度	完了	2027年度																		
総事業費 (億円)	75																					
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・想定される氾濫区域には、JR東海道本線、JR東海道新幹線などの交通幹線が通過しているため、洪水氾濫が生じた場合は、その被害は甚大となり早急な治水対策が必要である。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成2年の洪水と同規模の出水に対して浸水被害の解消を図る。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標: 水害等災害による被害の軽減 ・施策目標: 水害・土砂災害の防災・減災を推進する。 																					
便益の主 な根拠	浸水軽減戸数: 31,091戸 浸水軽減面積: 641ha																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度	2008年																				
	B:総便益 (億円)	3,017	C:総費用(億円)	300	B/C	10.1	B-C	2,717	EIRR (%)	40												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>9.9</td> <td>~ 10.2</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>10.1</td> <td>~ 10.0</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>9.1</td> <td>~ 11.1</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	9.9	~ 10.2	残工期(+10%~-10%)	10.1	~ 10.0	資産(-10%~+10%)	9.1	~ 11.1
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	9.9	~ 10.2																				
残工期(+10%~-10%)	10.1	~ 10.0																				
資産(-10%~+10%)	9.1	~ 11.1																				
事業の効 果等	当該事業を実施することにより、橋梁架替を行うことで流下能力を確保し、早期に浸水被害軽減を図る。																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 平成26年10月に、学識者等による第三者から構成される滋賀県公共事業評価監視委員会に諮問し、同年11月に、事業継続とする旨の答申を得ている。																					

日野川 大規模特定河川事業位置図

位置図



平面図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	大井手川大規模特定河川事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局治水課 藤巻 浩之	事業 主体	京都府																				
実施箇所	京都府木津川市																									
主な事業 の諸元	橋梁架替、護岸工等																									
事業期間	事業採択	2019年度	完了	2022年度																						
総事業費 (億円)	11																									
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景> ・木津中央地区における関西文化学術研究都市の開発による河川への流出量の増加が予想され、周辺住民への影響が懸念される。</p> <p><達成すべき目標> ・橋梁工・護岸工等を施工して河川断面を広げ、流下能力の向上を図る。なお、一部バイパス区間を計画している。</p> <p><政策体系上の位置付け> ・政策目標: 水害等災害による被害の軽減 ・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する。</p>																									
便益の主 な根拠	年平均浸水被害軽減戸数 4戸 年平均浸水被害軽減面積 5.1ha																									
事業全体 の投資効 率性	基準年度	2017年度																								
	B:総便益 (億円)	41	C:総費用(億円)	35	B/C	1.2	B-C	6	EIRR (%)	4.9																
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td></td> <td>1.1</td> <td>~ 1.2</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td></td> <td>1.2</td> <td>~ 1.2</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td></td> <td>1.1</td> <td>~ 1.3</td> </tr> </tbody> </table>												全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)		1.1	~ 1.2	残工期(+10%~-10%)		1.2	~ 1.2	資産(-10%~+10%)		1.1	~ 1.3
		全体事業(B/C)																								
残事業費(+10%~-10%)		1.1	~ 1.2																							
残工期(+10%~-10%)		1.2	~ 1.2																							
資産(-10%~+10%)		1.1	~ 1.3																							
事業の効 果等	当該事業を実施することにより、計画確率降雨による洪水について、安全に流下できる断面を確保する。																									
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 平成30年1月22日に開催した「第20回木津川・桂川・宇治川圏域河川整備計画検討委員会」において、木津川圏域河川整備計画の進捗点検について、「事業継続は妥当」とする結論を得た。																									

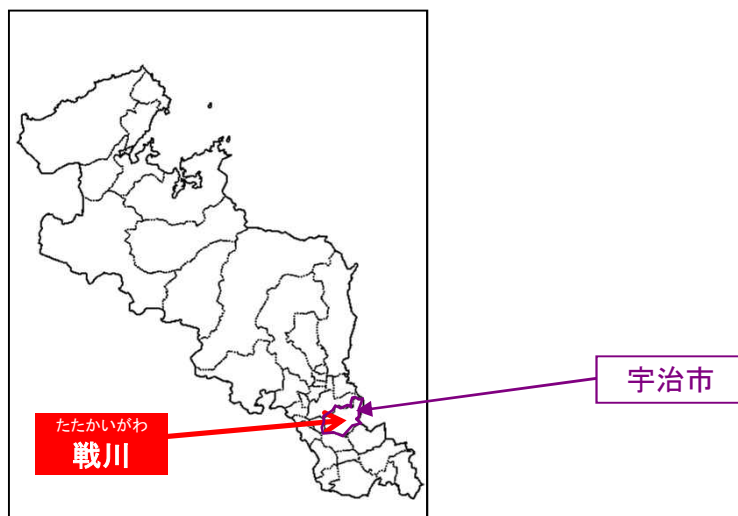
大井手川大規模特定河川事業 事業位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	戦川大規模特定河川事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局治水課 藤巻 浩之		事業 主体	京都府															
実施箇所	京都府宇治市																					
主な事業 の諸元	橋梁架替、河道掘削等																					
事業期間	事業採択	2019年度	完了	2023年度																		
総事業費 (億円)	12																					
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成24年に大規模な浸水被害(床上浸水275戸、床下浸水209戸)が発生している。 ・流域には、JR・京阪電車の線路、府道がある等財産が集中している。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・橋梁工・河道掘削等を施工して流下能力の向上を図る。 ・平成24年8月豪雨による洪水と同規模の洪水に対して、床上浸水被害を解消。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標:水害等災害による被害の軽減 ・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する。 																					
便益の主 な根拠	年平均浸水軽減戸数:194戸 年平均浸水軽減面積:43.8ha																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度	2016年度																				
	B:総便益 (億円)	2,642	C:総費用(億円)	98	B/C	27.0	B-C	2,544	EIRR (%)	135												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>26.2</td> <td>~ 27.7</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>27.0</td> <td>~ 26.9</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>24.3</td> <td>~ 29.6</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	26.2	~ 27.7	残工期(+10%~-10%)	27.0	~ 26.9	資産(-10%~+10%)	24.3	~ 29.6
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	26.2	~ 27.7																				
残工期(+10%~-10%)	27.0	~ 26.9																				
資産(-10%~+10%)	24.3	~ 29.6																				
事業の効 果等	当該事業を実施することにより、平成24年8月豪雨と同規模の洪水に対して、浸水被害を解消できる。																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 平成29年1月31日に実施された第18回木津川・桂川・宇治川圏域河川整備計画検討委員会において、当該整備箇所を含む宇治川圏域河川整備計画の変更案について了解された。																					

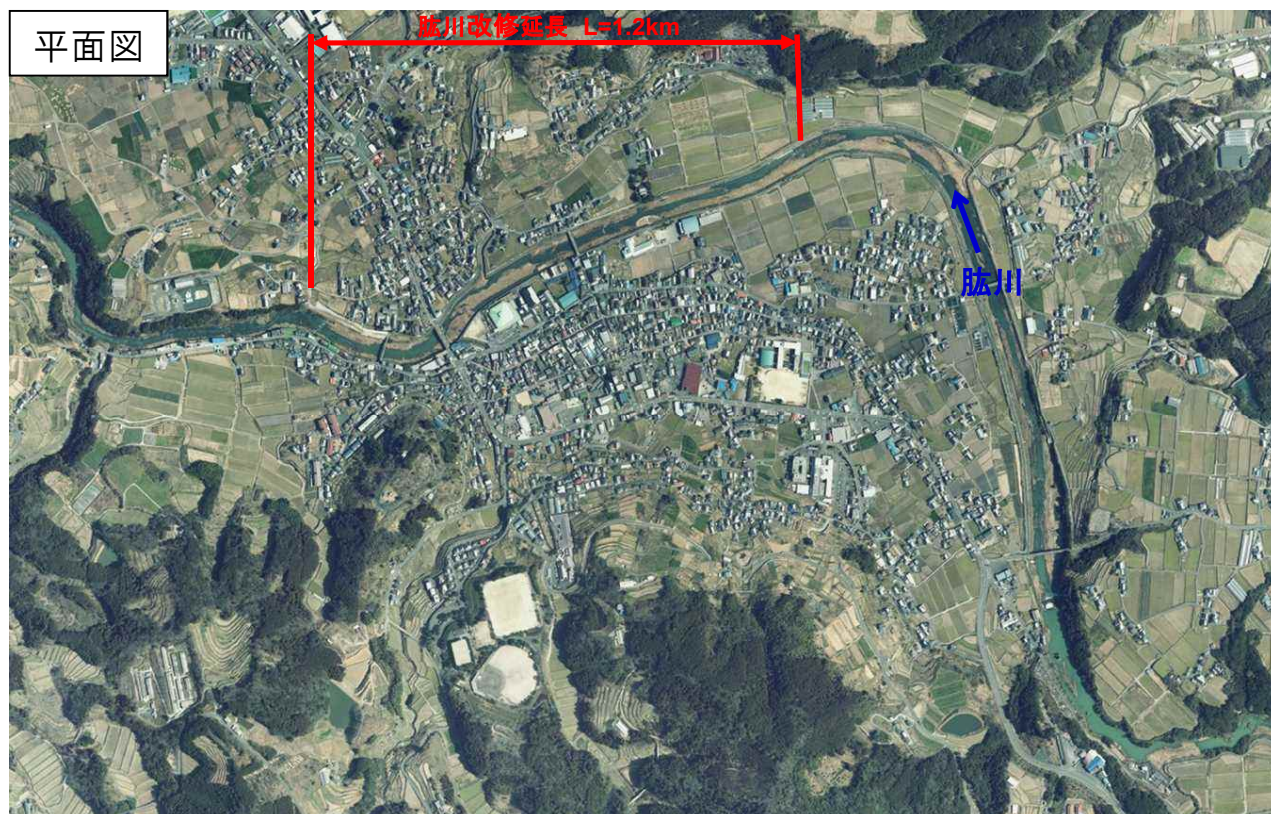
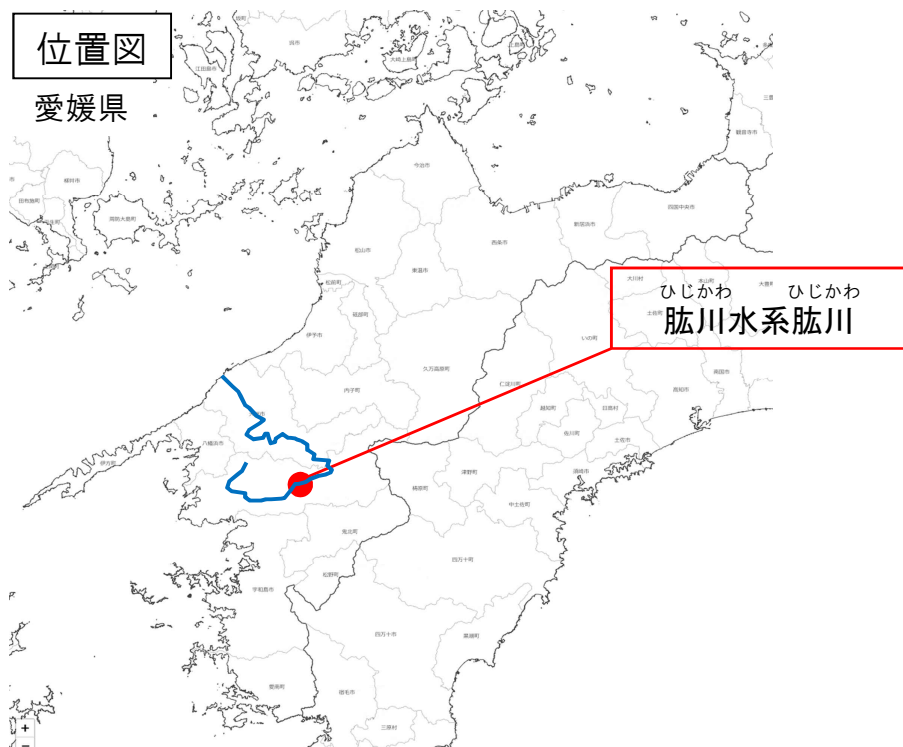
戦川大規模特定河川事業 事業位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	肱川大規模特定河川事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局治水課 藤巻 浩之		事業 主体	愛媛県															
実施箇所	愛媛県西予市野村町																					
主な事業 の諸元	橋梁改築、橋梁撤去、河道掘削																					
事業期間	事業採択	2019年度	完了	2024年度																		
総事業費 (億円)	20																					
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> 野村大橋付近がボトルネックになっており、せき上げにより野村大橋上流域で洪水時に越水する恐れがある。 平成30年7月に650戸(床上570戸、床下80戸)の浸水被害が発生。 <p><達成すべき目標></p> <p>野村大橋の改築(1径間架替)、引き提及び河道掘削により流下能力の向上を図る。</p> <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> 政策目標:水害等災害による被害の軽減 施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する。 																					
便益の主 な根拠	年平均浸水軽減戸数:7戸 年平均浸水軽減面積:1.1ha																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度	2019年度																				
	B:総便益 (億円)	36	C:総費用(億円)	20	B/C	1.8	B-C	16	EIRR (%)	8.5												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>1.6</td> <td>~ 2.0</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>1.8</td> <td>~ 1.8</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>1.6</td> <td>~ 2.0</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	1.6	~ 2.0	残工期(+10%~-10%)	1.8	~ 1.8	資産(-10%~+10%)	1.6	~ 2.0
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	1.6	~ 2.0																				
残工期(+10%~-10%)	1.8	~ 1.8																				
資産(-10%~+10%)	1.6	~ 2.0																				
事業の効 果等	当該事業を実施することにより、平成30年7月洪水を安全に流下させることができる。																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 令和元年6月に学識者等による意見聴取し、事業内容について承認を得ている。																					

肱川大規模特定河川事業位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	地蔵寺川大規模特定河川事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局治水課 藤巻 浩之		事業 主体	高知県			
実施箇所	高知県土佐郡土佐町									
主な事業 の諸元	築堤、護岸、橋梁改築等									
事業期間	事業採択	2019年度	完了	2024年度						
総事業費 (億円)	13									
目的・必要性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・堤防の高さが低く断面も不十分なことから洪水時には溢水・破堤氾濫を生じる恐れがあり、現況流下能力も低い ・また、土佐中島橋(県道橋)の桁下高がHWL+余裕高より低く、治水上の支障となっている。 ・平成16年には、台風23号に伴う洪水で家屋(床上1戸、床下12戸)や国道が浸水するなど、大規模な浸水被害が発生している。 <p><達成すべき目標></p> <p>築堤・護岸の整備を行うとともに土佐中島橋を改築し、一連区間の流下能力の向上を図り、浸水被害を防止・軽減する。</p> <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標:水害等災害による被害の軽減 ・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する。 									
便益の主な 根拠	浸水軽減戸数:12戸 浸水軽減面積:1.2ha									
事業全体の 投資効率性	基準年度	2019年度								
	B:総便益 (億円)	14	C:総費用(億円)	12	B/C	1.1	B-C	1.2	EIRR (%)	4.6
感度分析	全体事業(B/C) 残事業費(+10%~-10%) 1.0 ~ 1.2 残工期(+10%~-10%) 1.1 ~ 1.1 資産(-10%~+10%) 1.0 ~ 1.2									
事業の効果等	当該事業を実施することにより、 ① 地蔵寺川の築堤・護岸整備や橋梁の改築等を行うことにより、流下能力を確保し、地蔵寺川流域における浸水被害の軽減を図る。 ② 国道、県道等の浸水も軽減し、沿線住民の移動・避難経路等が確保される。									
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 地蔵寺川の改修事業については、令和元年6月に学識経験者から意見聴取を行い、事業実施の承認を得ている。									

地蔵寺川大規模特定河川事業位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	志奈弥川大規模特定河川事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局治水課 藤巻 浩之	事業 主体	高知県																
実施箇所	高知県高知市																					
主な事業 の諸元	掘削、築堤、護岸、橋梁改築等																					
事業期間	事業採択	2019年度	完了	2024年度																		
総事業費 (億円)	12																					
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・堤防の高さが低く断面も不十分なことから洪水時には溢水・破堤氾濫を生じる恐れがあり、現況流下能力も低い ・また、改修区間内には7つの橋梁があり治水上の支障となっていることから、架替えが必要である。 ・平成10年9月の豪雨では流域一帯が浸水し大規模な被害が生じている。(床上浸水889戸、床下浸水159戸) <p><達成すべき目標></p> <p>築堤・護岸整備を行うとともに、橋梁の改築を行い、一連区間の流下能力の確保を図り、浸水被害を防止・軽減する。</p> <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標:水害等災害による被害の軽減 ・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する。 																					
便益の主 な根拠	浸水軽減戸数:1,048戸 浸水軽減面積:48.6ha																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度	2019年度																				
	B:総便益 (億円)	102	C:総費用(億円)	61	B/C	1.7	B-C	41.1	EIRR (%)	7.8												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>1.6</td> <td>~ 1.7</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>1.7</td> <td>~ 1.7</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>1.5</td> <td>~ 1.8</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	1.6	~ 1.7	残工期(+10%~-10%)	1.7	~ 1.7	資産(-10%~+10%)	1.5	~ 1.8
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	1.6	~ 1.7																				
残工期(+10%~-10%)	1.7	~ 1.7																				
資産(-10%~+10%)	1.5	~ 1.8																				
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <p>① 志奈弥川の築堤・護岸整備や橋梁の改築等を行うことにより、流下能力を確保し、流域における浸水被害の軽減を図る。</p> <p>② 県道等の浸水も軽減し、沿線住民の移動・避難経路等が確保される。</p>																					
その他	<p><第三者委員会の意見・反映内容></p> <p>当該整備箇所を含む志奈弥川の改修事業については、平成29年9月の河川整備計画策定時に承認を得ている。</p>																					

志奈弥川大規模特定河川事業位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	白石川事業間連携河川事業	担当課 担当課長名	水管理・国土保全局治水課 藤巻 浩之	事業 主体	宮城県																	
実施箇所	宮城県柴田郡柴田町																					
主な事業 の諸元	堤防強化、流下阻害解消(樹木伐採等)																					
事業期間	事業採択	2019年度	完了	2020年度																		
総事業費 (億円)	1.8																					
目的・必要性	<p><解決すべき課題・背景> 阿武隈川水系白石川は、柴田町の住宅密集地を流下しており、平成14年の台風6号による洪水等で甚大な被害が発生した。当該地区の堤防は破堤すると、その浸水深が深く、甚大な被害が発生する恐れがあり、堤防の強化対策が急務となっている。</p> <p><達成すべき目標> ・阿武隈川水系白石川は、柴田町の住宅密集地を流下しており、平成14年の台風6号による洪水等で甚大な被害が発生した。このため補助事業により、河道掘削等を集中的に実施し、治水安全度の向上を図る。</p> <p><政策体系上の位置付け> ・政策目標:水害等災害による被害の軽減 ・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する</p>																					
便益の主な根拠	浸水軽減戸数:10,820戸 浸水軽減面積:17,200ha																					
事業全体の投資効率性	基準年度	2008年度																				
	B:総便益(億円)	14,823	C:総費用(億円)	138	B/C	107.4	B-C	14,685	EIRR (%)	100%以上												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>105.1</td> <td>~ 109.6</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>103.2</td> <td>~ 111.8</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>118.1</td> <td>~ 96.6</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	105.1	~ 109.6	残工期(+10%~-10%)	103.2	~ 111.8	資産(-10%~+10%)	118.1	~ 96.6
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	105.1	~ 109.6																				
残工期(+10%~-10%)	103.2	~ 111.8																				
資産(-10%~+10%)	118.1	~ 96.6																				
事業の効果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <p>①阿武隈川合流点付近市街地の洪水による堤防越水に対する被害リスク、浸水被害の軽減が図られる。</p>																					
その他	<p><第三者委員会の意見・反映内容> 平成20年11月に学識者等による第三者から構成される公共事業評価部会で審議され、当該整備箇所を含む事業の継続妥当とした答申を得ている。</p>																					

白石川事業間連携河川事業位置図

位置図



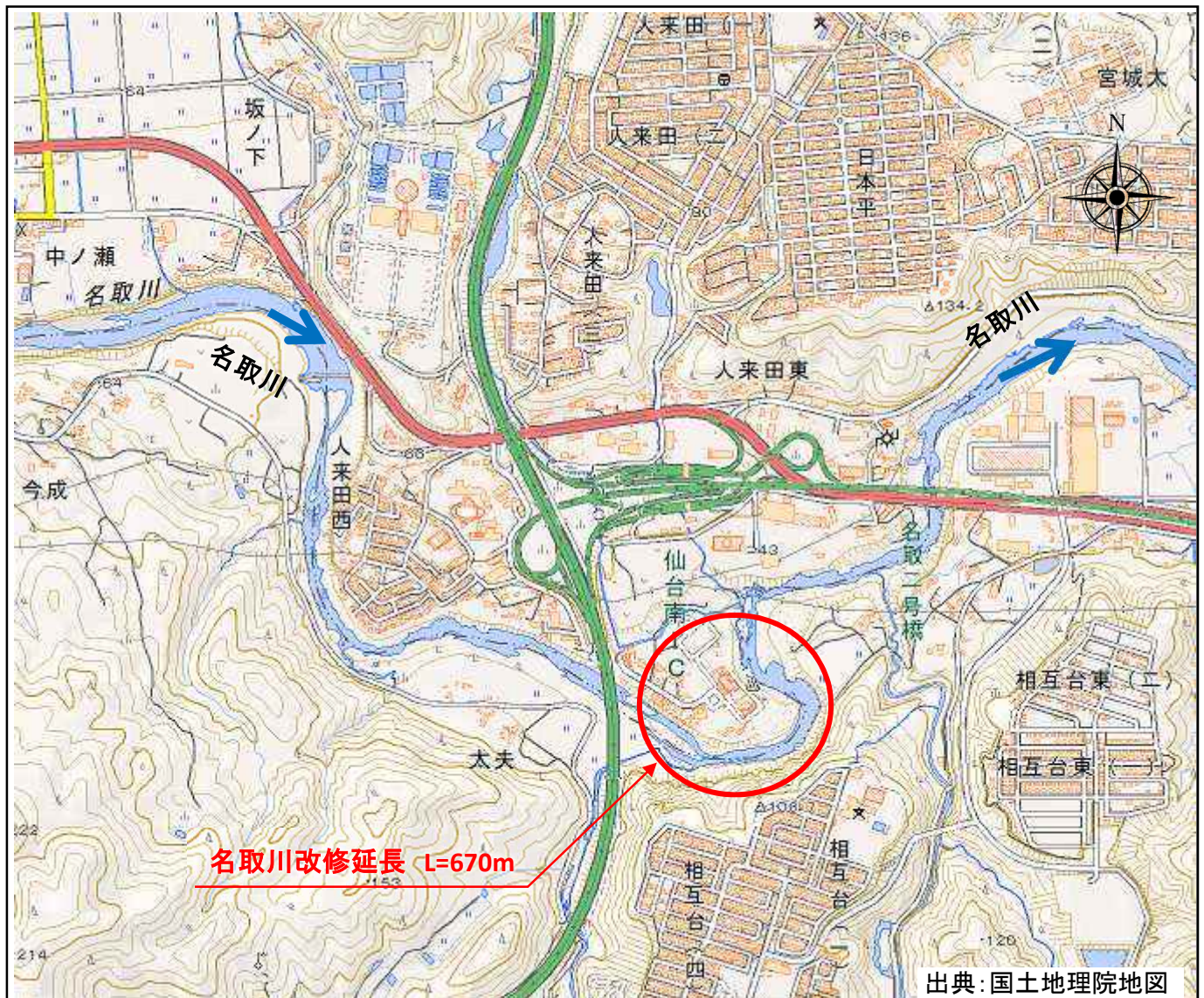
出典: 国土地理院地図

<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	名取川事業間連携河川事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局治水課 藤巻 浩之		事業 主体	宮城県																
実施箇所	宮城県仙台市																						
主な事業 の諸元	河道掘削、護岸工																						
事業期間	事業採択	2019年度	完了	2020年度																			
総事業費 (億円)	4.4																						
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景> 一級河川名取川水系名取川の仙台市太白区茂庭字人来田西地区においては、左岸部に人家及び宿泊施設「茂庭荘」や旧伊達藩邸「鐘景閣」があり、地域にとって重要な資産・人命が集中している。</p> <p><達成すべき目標> 一級河川名取川水系名取川は、仙台市太白区茂庭字人来田西地区が狭窄部となっており、上流の釜房ダムにおいては本地区における水位上昇見合いに放流を行なっていることから、本来のダムの機能が発揮できない状況である。 このため補助事業により、河道掘削等を集中的に実施し、治水安全度の向上を図る。</p> <p><政策体系上の位置付け> ・政策目標:水害等災害による被害の軽減 ・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する</p>																						
便益の主 な根拠	浸水軽減戸数:12戸 浸水軽減面積:25ha																						
事業全体 の投資効 率性	基準年度	2009年度																					
	B:総便益 (億円)	184	C:総費用(億円)	146	B/C	1.3	B-C	38	EIRR (%)	5.7													
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>1.2</td> <td>~ 1.3</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>1.2</td> <td>~ 1.4</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>1.1</td> <td>~ 1.4</td> </tr> </tbody> </table>												全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	1.2	~ 1.3	残工期(+10%~-10%)	1.2	~ 1.4	資産(-10%~+10%)	1.1	~ 1.4
	全体事業(B/C)																						
残事業費(+10%~-10%)	1.2	~ 1.3																					
残工期(+10%~-10%)	1.2	~ 1.4																					
資産(-10%~+10%)	1.1	~ 1.4																					
事業の効 果等	当該事業を実施することにより、流下能力の向上による浸水被害の軽減が図られる。また、上流釜房ダムにおいて実施していた放流量の制限(暫定操作)が解消され、ダム本来の洪水調節機能が確保(治水安全度が向上)される。																						
その他	<p><第三者委員会の意見・反映内容> 平成19年11月~平成21年2月まで、学識者等による第三者から構成される懇談会を開催(計5回)し整備計画について了承を得ている。 また、平成21年1月には、意見交換会(地域の方々の意見を聴く会)を開催し了承を得ている。 令和元年6月に学識者等から意見聴取を行い、事業実施の承認を得ている。</p>																						

名取川事業間連携河川事業位置図

位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	山田川事業間連携河川事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局治水課 藤巻 浩之		事業 主体	富山県															
実施箇所	富山県富山市																					
主な事業 の諸元	河道掘削、堤防整備																					
事業期間	事業採択	2019年度	完了	2020年度																		
総事業費 (億円)	1.7																					
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・近年では、平成25年(浸水戸数:1戸)及び平成29年(浸水戸数:1戸)と浸水被害が発生している <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・河道掘削・築堤等を集中的に実施し、治水安全度向上を図る。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標:水害等災害による被害の軽減 ・施策目標:水害の防止・減災を推進する 																					
便益の主 な根拠	年平均浸水被害軽減戸数:2戸 年平均浸水被害軽減面積:1ha																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度	2018年度																				
	B:総便益 (億円)	4.1	C:総費用(億円)	1.9	B/C	2.2	B-C	2.1	EIRR (%)	10.9												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>2.1</td> <td>~ 2.3</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>2.2</td> <td>~ 2.2</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>2.0</td> <td>~ 2.4</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	2.1	~ 2.3	残工期(+10%~-10%)	2.2	~ 2.2	資産(-10%~+10%)	2.0	~ 2.4
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	2.1	~ 2.3																				
残工期(+10%~-10%)	2.2	~ 2.2																				
資産(-10%~+10%)	2.0	~ 2.4																				
事業の効 果等	当該事業を実施することにより、1/50規模の洪水を安全に流下させることができる。																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 令和元年6月に学識者等から意見聴取を行い、事業実施の承認を得ている。																					

山田川事業間連携河川事業

位置図



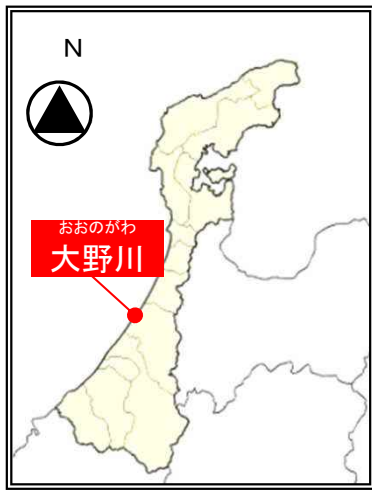
平面図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	大野川事業間連携河川事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局治水課 藤巻 浩之		事業 主体	石川県															
実施箇所	石川県金沢市																					
主な事業 の諸元	掘削工、護岸工																					
事業期間	事業採択	2019年度	完了	2024年度																		
総事業費 (億円)	17																					
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・大野川は、家屋の密集地を貫流しており、平成20年7月の豪雨に伴う洪水では、床上浸水5戸、床下浸水29戸の被害が生じている。 ・そのため、流下能力不足区間について、早急に整備を進める必要がある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・流下能力不足区間を整備し、100年に1度の洪水に対して、浸水被害を解消する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標:水害等災害による被害の軽減 ・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する。 																					
便益の主 な根拠	年平均浸水軽減戸数:730戸 年平均浸水軽減面積:10ha																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度		平成30年度																			
	B:総便益 (億円)	106	C:総費用(億円)	70	B/C	1.5	B-C	36	EIRR (%)	7.1												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>1.4</td> <td>~ 1.6</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>1.5</td> <td>~ 1.5</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>1.4</td> <td>~ 1.7</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	1.4	~ 1.6	残工期(+10%~-10%)	1.5	~ 1.5	資産(-10%~+10%)	1.4	~ 1.7
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	1.4	~ 1.6																				
残工期(+10%~-10%)	1.5	~ 1.5																				
資産(-10%~+10%)	1.4	~ 1.7																				
事業の効 果等	・100年に1度の洪水に対して、浸水被害を解消する。																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 平成31年3月に学識者等、第三者から意見聴取を行い、事業実施の承認を得ている。																					

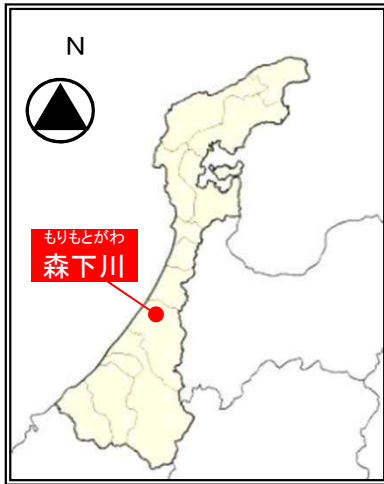
大野川事業間連携河川事業位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	森下川事業間連携河川事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局治水課 藤巻 浩之		事業 主体	石川県															
実施箇所	石川県金沢市																					
主な事業 の諸元	築堤工、河道掘削工、護岸工、橋梁工																					
事業期間	事業採択	2019年度	完了	2022年度																		
総事業費 (億円)	16																					
目的・必要性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・森下川は、家屋の密集地を貫流しており、平成10年9月の台風7号に伴う洪水では、床下浸水4戸の被害が生じている。 ・そのため、流下能力不足区間について、早急に整備を進める必要がある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・流下能力不足区間を整備し、10年に1度の洪水に対して、浸水被害を解消する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標:水害等災害による被害の軽減 ・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する。 																					
便益の主な 根拠	年平均浸水軽減戸数:1,140戸 年平均浸水軽減面積:19ha																					
事業全体の 投資効率性	基準年度		平成27年度																			
	B:総便益 (億円)	160	C:総費用(億円)	76	B/C	2.1	B-C	84	EIRR (%)	9.9												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>2.0</td> <td>~ 2.3</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>2.1</td> <td>~ 2.1</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>2.0</td> <td>~ 2.3</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	2.0	~ 2.3	残工期(+10%~-10%)	2.1	~ 2.1	資産(-10%~+10%)	2.0	~ 2.3
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	2.0	~ 2.3																				
残工期(+10%~-10%)	2.1	~ 2.1																				
資産(-10%~+10%)	2.0	~ 2.3																				
事業の効果等	・10年に1度の洪水に対して、浸水被害を解消する。																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 平成31年3月に学識者等、第三者から意見聴取を行い、事業実施の承認を得ている。																					

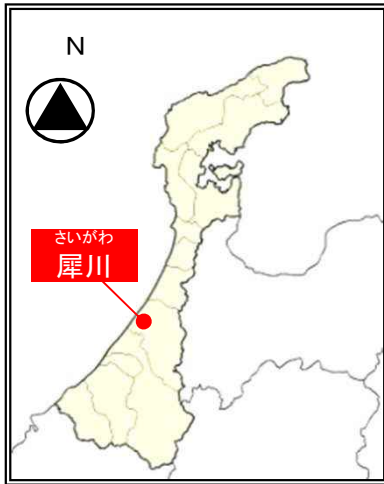
森下川事業間連携河川事業位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	犀川事業間連携河川事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局治水課 藤巻 浩之		事業 主体	石川県																			
実施箇所	石川県金沢市																									
主な事業 の諸元	河道掘削工、築堤工																									
事業期間	事業採択	2019年度	完了	2024年度																						
総事業費 (億円)	78																									
目的・必要性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> 犀川は、金沢市の市街地中心部を貫流しており、昭和49年7月の豪雨に伴う洪水では、堤防の破堤により床上浸水142戸、床下浸水2,627戸の被害が生じている。 そのため、流下能力不足区間について、早急に整備を進める必要がある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> 流下能力不足区間を整備し、100年に1度の洪水に対して、浸水被害を解消する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> 政策目標: 水害等災害による被害の軽減 施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する。 																									
便益の主な根拠	年平均浸水軽減戸数: 13,092戸 年平均浸水軽減面積: 192ha																									
事業全体の投資効率性	基準年度		平成30年度																							
	B:総便益 (億円)	15,742	C:総費用(億円)	821	B/C	19.2	B-C	14,921	EIRR (%)	74.8																
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td></td> <td>19</td> <td>~ 19</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td></td> <td>19</td> <td>~ 19</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td></td> <td>19</td> <td>~ 20</td> </tr> </tbody> </table>												全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)		19	~ 19	残工期(+10%~-10%)		19	~ 19	資産(-10%~+10%)		19	~ 20
		全体事業(B/C)																								
残事業費(+10%~-10%)		19	~ 19																							
残工期(+10%~-10%)		19	~ 19																							
資産(-10%~+10%)		19	~ 20																							
事業の効果等	・100年に1度の洪水に対して、浸水被害を解消する。																									
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 平成31年3月に学識者等、第三者から意見聴取を行い、事業実施の承認を得ている。																									

犀川事業間連携河川事業位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	高橋川事業間連携河川事業	担当課 担当課長名	水管理・国土保全局治水課 藤巻 浩之	事業 主体	石川県												
実施箇所	石川県金沢市、野々市市、白山市																
主な事業 の諸元	河道掘削工 等																
事業期間	事業採択	2019年度	完了	2024年度													
総事業費 (億円)	38																
目的・必要性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・高橋川は、家屋の密集地を貫流しており、平成10年9月の台風7号に伴う洪水では、堤防の破堤により床上浸水9戸、床下浸水46戸の被害が生じている。 ・そのため、流下能力不足区間について、早急に整備を進める必要がある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・流下能力不足区間を整備し、10年に1度の洪水に対して、浸水被害を解消する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標:水害等災害による被害の軽減 ・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する。 																
便益の主な根拠	年平均浸水軽減戸数:2,034戸 年平均浸水軽減面積:35ha																
事業全体の投資効率性	基準年度	平成30年度															
	B:総便益(億円)	3,002	C:総費用(億円)	309	B/C 9.7 B-C 2,693 EIRR (%) 46.0												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>9.6</td> <td>~ 9.8</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>9.6</td> <td>~ 9.8</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>9.1</td> <td>~ 10.3</td> </tr> </tbody> </table>						全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	9.6	~ 9.8	残工期(+10%~-10%)	9.6	~ 9.8	資産(-10%~+10%)	9.1	~ 10.3
	全体事業(B/C)																
残事業費(+10%~-10%)	9.6	~ 9.8															
残工期(+10%~-10%)	9.6	~ 9.8															
資産(-10%~+10%)	9.1	~ 10.3															
事業の効果等	・10年に1度の洪水に対して、浸水被害を解消する。																
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 平成31年3月に学識者等、第三者から意見聴取を行い、事業実施の承認を得ている。																

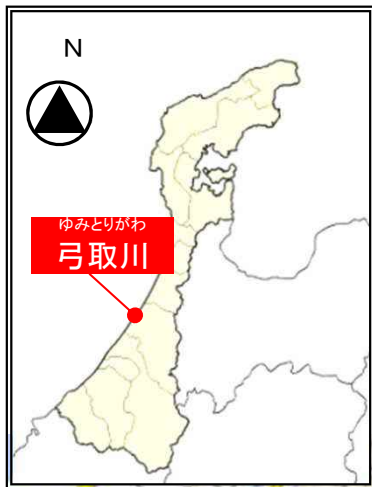
高橋川事業間連携河川事業位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	弓取川事業間連携河川事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局治水課 藤巻 浩之		事業 主体	石川県															
実施箇所	石川県金沢市																					
主な事業 の諸元	掘削工、護岸工																					
事業期間	事業採択	2019年度	完了	2022年度																		
総事業費 (億円)	1.5																					
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・弓取川は、家屋の密集地を貫流しており、平成11年9月の豪雨に伴う洪水では床下浸水25戸の被害が生じている。 ・そのため、流下能力不足区間について、早急に整備を進める必要がある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・流下能力不足区間を整備し、30年に1度の洪水に対して、浸水被害を解消する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標:水害等災害による被害の軽減 ・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する。 																					
便益の主 な根拠	年平均浸水軽減戸数:571戸 年平均浸水軽減面積:7ha																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度		平成30年度																			
	B:総便益 (億円)	293	C:総費用(億円)	169	B/C	1.7	B-C	124	EIRR (%)	7.6												
感度分析	<table border="0"> <tr> <td></td> <td colspan="2">全体事業(B/C)</td> </tr> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>1.7</td> <td>~ 1.7</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>1.7</td> <td>~ 1.7</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>1.7</td> <td>~ 1.8</td> </tr> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	1.7	~ 1.7	残工期(+10%~-10%)	1.7	~ 1.7	資産(-10%~+10%)	1.7	~ 1.8
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	1.7	~ 1.7																				
残工期(+10%~-10%)	1.7	~ 1.7																				
資産(-10%~+10%)	1.7	~ 1.8																				
事業の効 果等	・30年に1度の洪水に対して、浸水被害を解消する。																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 平成31年3月に学識者等、第三者から意見聴取を行い、事業実施の承認を得ている。																					

弓取川事業間連携河川事業位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	木曳川事業間連携河川事業	担当課 担当課長名	水管理・国土保全局治水課 藤巻 浩之	事業 主体	石川県												
実施箇所	石川県金沢市																
主な事業 の諸元	掘削工、護岸工、橋梁工																
事業期間	事業採択	2019年度	完了	2022年度													
総事業費 (億円)	1.6																
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・木曳川は、家屋の密集地を貫流しており、平成10年9月の台風7号に伴う洪水では、床下浸水45戸の被害が生じている。 ・そのため、流下能力不足区間について、早急に整備を進める必要がある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・流下能力不足区間を整備し、10年に1度の洪水に対して、浸水被害を解消する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標:水害等災害による被害の軽減 ・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する。 																
便益の主 な根拠	年平均浸水軽減戸数:1,040戸 年平均浸水軽減面積:18ha																
事業全体 の投資効 率性	基準年度	平成30年度															
	B:総便益 (億円)	1,228	C:総費用(億円)	187	B/C 6.6 B-C 1,041 EIRR (%) 31.5												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>6.3</td> <td>~ 6.8</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>6.6</td> <td>~ 6.6</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>6.1</td> <td>~ 7.0</td> </tr> </tbody> </table>						全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	6.3	~ 6.8	残工期(+10%~-10%)	6.6	~ 6.6	資産(-10%~+10%)	6.1	~ 7.0
	全体事業(B/C)																
残事業費(+10%~-10%)	6.3	~ 6.8															
残工期(+10%~-10%)	6.6	~ 6.6															
資産(-10%~+10%)	6.1	~ 7.0															
事業の効 果等	・10年に1度の洪水に対して、浸水被害を解消する。																
その他	<p><第三者委員会の意見・反映内容></p> <p>平成31年3月に学識者等、第三者から意見聴取を行い、事業実施の承認を得ている。</p>																

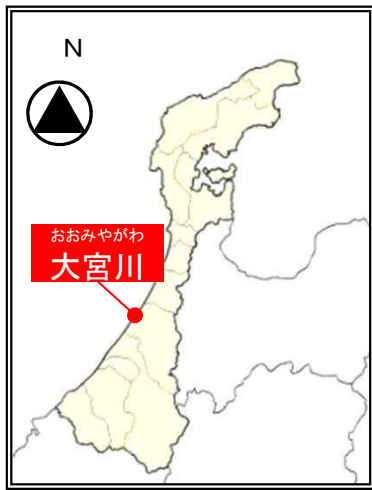
木曳川事業間連携河川事業位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	大宮川事業間連携河川事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局治水課 藤巻 浩之		事業 主体	石川県																																															
実施箇所	石川県金沢市																																																					
主な事業 の諸元	護岸工、橋梁工																																																					
事業期間	事業採択	2019年度	完了	2022年度																																																		
総事業費 (億円)	7.9																																																					
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・大宮川は、家屋の密集地を貫流しており、平成11年9月の豪雨に伴う洪水では、床下浸水11戸の被害が生じている。 ・そのため、流下能力不足区間について、早急に整備を進める必要がある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・流下能力不足区間を整備し、7年に1度の洪水に対して、浸水被害を解消する。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標:水害等災害による被害の軽減 ・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する。 																																																					
便益の主 な根拠	年平均浸水軽減戸数:448戸 年平均浸水軽減面積:6ha																																																					
事業全体 の投資効 率性	基準年度		平成30年度																																																			
	B:総便益 (億円)	454	C:総費用(億円)	105	B/C	4.3	B-C	349	EIRR (%)	20.2																																												
感度分析	<table border="0"> <tr> <td></td> <td colspan="2">全体事業(B/C)</td> <td colspan="8"></td> </tr> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>4.3</td> <td>~</td> <td>4.4</td> <td colspan="7"></td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>4.3</td> <td>~</td> <td>4.3</td> <td colspan="7"></td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>4.1</td> <td>~</td> <td>4.6</td> <td colspan="7"></td> </tr> </table>											全体事業(B/C)										残事業費(+10%~-10%)	4.3	~	4.4								残工期(+10%~-10%)	4.3	~	4.3								資産(-10%~+10%)	4.1	~	4.6							
	全体事業(B/C)																																																					
残事業費(+10%~-10%)	4.3	~	4.4																																																			
残工期(+10%~-10%)	4.3	~	4.3																																																			
資産(-10%~+10%)	4.1	~	4.6																																																			
事業の効 果等	・7年に1度の洪水に対して、浸水被害を解消する。																																																					
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 平成31年3月に学識者等、第三者から意見聴取を行い、事業実施の承認を得ている。																																																					

大宮川事業間連携河川事業位置図

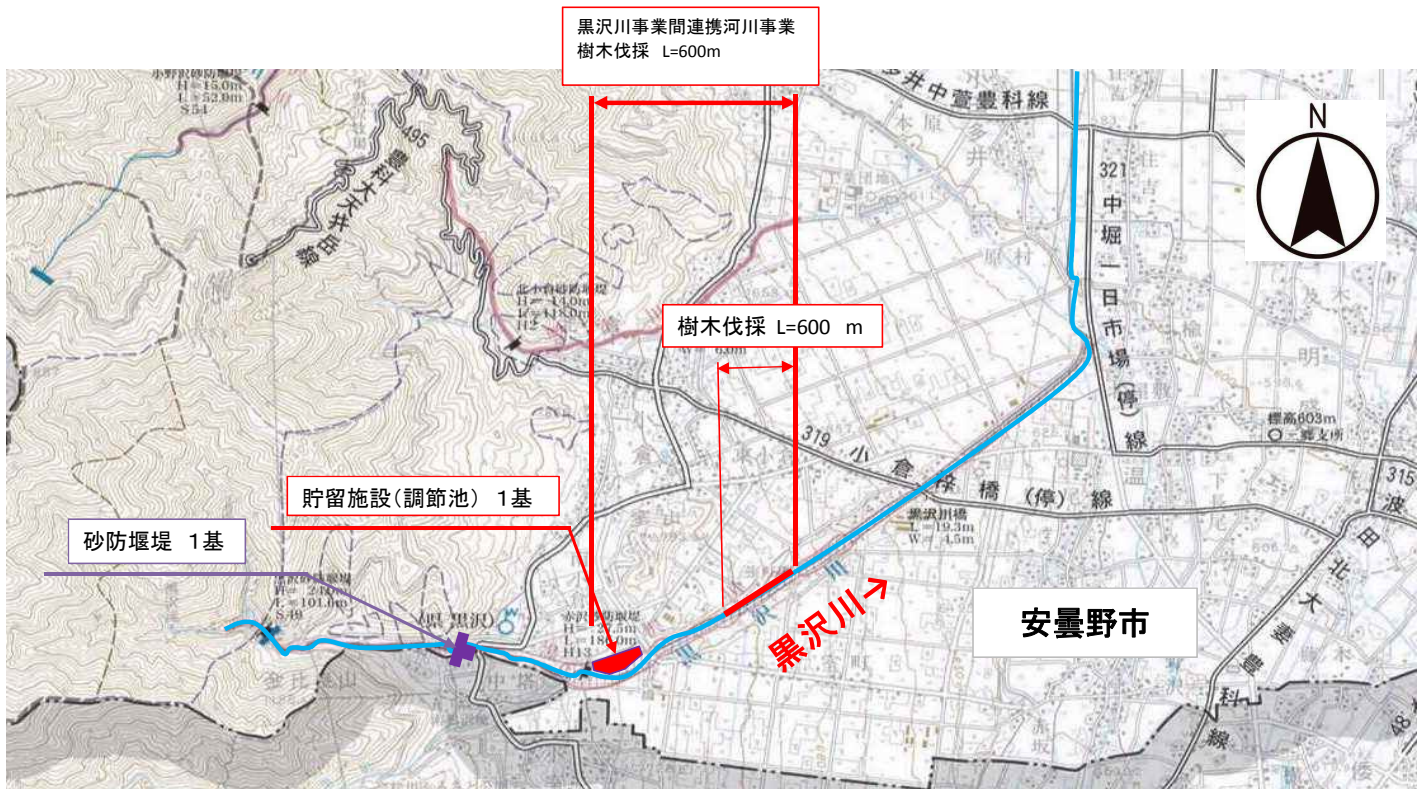


<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	黒沢川 事業間連携河川事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局治水課 藤巻 浩之		事業 主体	長野県																
実施箇所	長野県 安曇野市																						
主な事業 の諸元	樹木伐採、調節池																						
事業期間	事業採択	2019	完了	2020																			
総事業費 (億円)	3.0																						
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・安曇野市街地最下流部が尻無し川となっているため、流下能力が低く、度々溢水し、流域に密集する公共施設・農業施設・住宅等へ多大な浸水被害を招いている。 ・平成11年6月豪雨において、流域内で床下16戸の浸水被害が発生していることから、流下能力不足区間について、早急に整備を進める必要がある。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・樹木伐採及び調節池により流下能力の回復を図る。 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標:水害等災害による被害の軽減 ・施策目標:水害・土砂災害の防止・減災を推進する。 																						
便益の主 な根拠	浸水軽減戸数:5,435戸 浸水軽減面積:1,174ha																						
事業全体 の投資効 率性	基準年度		平成25年度																				
	B:総便益 (億円)	974	C:総費用(億円)		31	B/C	31.4	B-C	943	EIRR (%)	42.2												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>29.4</td> <td>~ 33.7</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>31.0</td> <td>~ 31.9</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>28.3</td> <td>~ 34.6</td> </tr> </tbody> </table>												全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	29.4	~ 33.7	残工期(+10%~-10%)	31.0	~ 31.9	資産(-10%~+10%)	28.3	~ 34.6
	全体事業(B/C)																						
残事業費(+10%~-10%)	29.4	~ 33.7																					
残工期(+10%~-10%)	31.0	~ 31.9																					
資産(-10%~+10%)	28.3	~ 34.6																					
事業の効 果等	<p>当該事業を実施することにより、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1/30の洪水に対して、浸水被害を解消する。 																						
その他	<p><第三者委員会の意見・反映内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年6月に学識経験者の意見聴取を実施し、事業実施の承認を得ている。 																						

黒沢川事業間連携河川事業 位置図

位置図



<新規事業採択時評価>

事業名 (箇所名)	伊沢谷川事業間連携河川事業		担当課 担当課長名	水管理・国土保全局治水課 藤巻 浩之		事業 主体	徳島県															
実施箇所	徳島県阿波市阿波町																					
主な事業 の諸元	河道掘削、樹木伐採等																					
事業期間	事業採択	2019年度	完了	2020年度																		
総事業費 (億円)	2.1																					
目的・必要性	<p><解決すべき課題・背景> 過去の浸水実績 ①被災頻度 : H16年台風23号(浸水面積100ha) ②最大農地浸水面積 : 100ha [H16(台風23号)]</p> <p>・吉野川水系伊沢谷川は吉野川の支川として本川の水位上昇・バックウォーターの影響を受けるとともに、上流域に多数の土砂災害警戒区域があり、洪水や土砂災害が発生しやすく、多くの家屋が影響を受ける恐れがある。 ・年超過確率1/30の降雨により伊沢谷川沿いで最大約63ha、約65戸の家屋が浸水するおそれがある ・このため、支川芋場谷の砂防堰堤の整備と合わせて、河道掘削等を行うことにより、土砂災害時の河道閉塞による溢水を防ぎ、流下能力確保を図る。</p> <p><達成すべき目標> ・年超過確率1/30の洪水を安全に流下させる。 ・河道内立木や橋梁へ流木等が引っ掛かることで生じる溢水の防止 ・流下断面の確保による浸水被害の軽減</p> <p><政策体系上の位置付け> ・政策目標: 水害等災害による被害の軽減 ・施策目標: 水害・土砂災害の防止・減災を推進する。</p>																					
便益の主な 根拠	年平均浸水軽減戸数: 1戸 年平均浸水軽減面積: 1.2ha																					
事業全体の 投資効率性	基準年度	2019年度																				
	B:総便益 (億円)	13	C:総費用(億円)	2.3	B/C	5.4	B-C	10	EIRR (%)	26.6												
感度分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全体事業(B/C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残事業費(+10%~-10%)</td> <td>4.9</td> <td>~ 6.0</td> </tr> <tr> <td>残工期(+10%~-10%)</td> <td>5.3</td> <td>~ 5.5</td> </tr> <tr> <td>資産(-10%~+10%)</td> <td>6.0</td> <td>~ 4.9</td> </tr> </tbody> </table>											全体事業(B/C)		残事業費(+10%~-10%)	4.9	~ 6.0	残工期(+10%~-10%)	5.3	~ 5.5	資産(-10%~+10%)	6.0	~ 4.9
	全体事業(B/C)																					
残事業費(+10%~-10%)	4.9	~ 6.0																				
残工期(+10%~-10%)	5.3	~ 5.5																				
資産(-10%~+10%)	6.0	~ 4.9																				
事業の 効果等	<p>・河川整備計画目標規模の洪水に対して、浸水家屋の65戸が解消され、氾濫面積約63haが軽減される。 ・通常砂防事業と連携して河道整備を実施することにより、上流の流出土砂による上流側芋場谷地区の浸水を防ぐとともに、河道閉塞による下流側の阿波町川久保地区外の浸水被害を解消することができる。</p>																					
その他	<p><第三者委員会の意見・反映内容> 平成31年3月に学識者等の第3者から構成される「とくしま川づくり委員会」を開催し、当該整備箇所を含む河川整備計画を可とした答申を得ている。</p>																					

伊沢谷川事業間連携河川事業位置図

位置図



平面図

